

巻頭言

薬学生の教育(実習)に精神科もぜひ参加を!

2013年4月から鈴鹿医療科学大学で勤務しております三輪です。これからもPCP研究会の先生方のお力をお借りしながら、教育の現場で頑張っていきたいと考えておりますのでご協力よろしくお願いたします。

さて、新しい職場に移って5ヶ月が過ぎましたが、慌しくあっという間の日々でした。現在、薬学教育では専門的な臨床での情報が望まれており、精神科専門薬剤師としての責務をひしひしと感じております。いまや精神科疾患は五大疾患の一つであり、今後の医療(高齢化や社会情勢の不安定化など)においても重要な位置付けとされ、また、各領域、特に緩和医療や糖尿病などの慢性疾患領域などからのコラボレーションの要請が増えることも予想されます。精神科領域は、病態や薬物治療において仮説が多く、非常に難解ですが、その反面、薬剤師の知識や経験が十分に反映できる現場だといえます。

しかし、教育や実習関連の業務では、まだまだ精神科や精神科疾患への偏見も伺えます。現状の実習の受け入れ先は総合病院が多く、精神科を経験することなく卒業する学生がほとんどです。そのなか、鈴鹿医療科学大学もそうですが、多くの大学が実習の受け入れ施設として、精神科を含めた単科病院に“共同受入れ”していただくことを模索し始めております。これには、薬剤師会や病院薬剤師会(日本および各都道府県)のご協力が必須ですが、現場の薬剤師の先生方、精神科の先生方のお力もお借りして少しずつ増やしていくことができればと思います。

精神科を体験したことのある学生からは魅力のある領域との声が多く寄せられております。精神科の魅力伝えるためにも、より良い人材を確保するためにも、先生方の御施設での実習受け入れをぜひ検討してみてください。私もそのために微力ながら頑張っていきたいと考えております。

顧問 三輪 高市

2013年度全国処方調査協力依頼

PCP研究会では、本邦の統合失調症に対する処方実態・動向を把握するため、2006年以降毎年処方調査を行っています。昨年度の調査では、全国154施設より総計21,798例ものデータをご提供いただきました。業務繁多にも拘らずご協力いただきました先生方、改めてお礼申し上げます。その結果、デポ剤についても適正使用を推進する必要があると思われました。



さて今年も例年同様、10/31(木)に全国調査を行います。昨年を更に上回るデータ(30,000例)を収集し、より詳細な実態把握を目指したいと思いますので、皆様のご協力をお願いいたします。参加を希望されるご施設は、メールにて事務局までご連絡ください。

PCP調査委員会 宇野 準二

薬剤師が答える! 統合失調症薬物治療相談室について



統合失調症の薬物療法について、患者様やご家族の方が抱えるさまざまな疑問や不安に対して薬剤師が答える“統合失調症薬物治療相談室”が開設されました。

この相談室では精神科専門薬剤師・精神科薬物療法認定薬剤師がさまざまな事例や文献を基に統合失調症薬物治療を検討し、統合失調症の方とご家族の方々からの質問にできるだけ適切な回答を行い、安全で効果的な薬物治療の実現を目指します。

患者様やご家族の方のみならず、統合失調症にかかわる医療従事者の皆様も会員登録できますので、ぜひ一度ご覧ください。

サイト名：薬剤師が答える統合失調症薬物治療相談室

アドレス：<http://yakuzaishi-soudan.jp/>

近畿ブロック世話人 宮原 佳希

論文が掲載されました!

2006年から本格的にスタートした全国処方調査。2011年には、新規調査項目としてBMIと心電図異常を追加しました。新しい調査項目を盛り込んだことによって検討の幅が広がり、これまで知られていなかった新しい知見を得ることが出来ました。まとめ上げた検討結果を投稿したところ、厳しい質問などもありましたが、無事に臨床精神薬理誌に掲載されました(7月号)。ご協力をいただいた皆様に心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

PCP研究会で実施する全国処方調査は、国内の処方実態を知る唯一の大規模調査であり、皆様のご協力なくしては成り立たないものです。このような地道な活動が今後の医療を変えるひとつのきっかけになるのかも知れません。今後も当研究会では集積したデータを学会発表や論文化するなどして、処方調査にご参加いただいた皆様をはじめ、多くの医療関係者や当事者の方々へ「国内の精神科薬物療法の実態」について、広く周知していきたいと考えています。

東北ブロック世話人 黒沢 雅広

評価尺度DVD貸し出しのご案内(再)

前号のNewsletter(No.14)でもお知らせしましたが、現在、当研究会では、社団法人日本精神科評価尺度研究会監修トレーニングDVDの貸し出しを行っておりますので(以下、3種類)、ご希望の方は、PCP事務局までご連絡をお願いいたします。

- ・日本語版MADRSTレーンングDVD (評価対象：うつ病)
- ・日本語版HAM-DレーンングDVD (評価対象：うつ病)
- ・日本語版YMRSレーンングDVD (評価対象：躁病エピソード)

貸し出し手数料(郵送代含む): 500円/本

中国・四国ブロック世話人 北川 航平

PCP研究会 新世話人 自己紹介

医療法人へいあん平安病院
診療部 診療科 薬剤係 主任 高田 憲一

はいさい くすーよ ちゅーうがなびら!

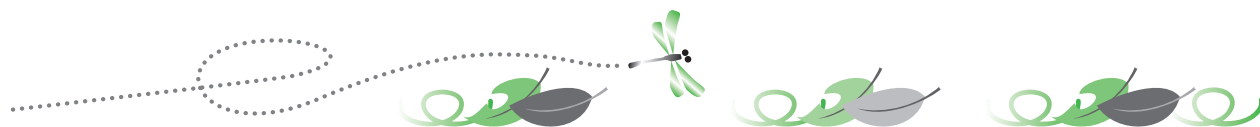
このたび九州ブロック・沖縄会場の世話人をさせて頂くことになりました医療法人へいあん平安病院の高田憲一です。おそらく世話人の中で一番毛深く、一番南の出身だと思います。生まれ育ったのは沖縄の離島宮古島で、丙午、乙女座、O型の雄です。今回、これまで長年沖縄会場を担当され、毎回盛り上げて下さっていた三輪高市先生の鈴鹿医療科学大学薬学部教授就任に伴い、その後釜としてお仕事をさせて頂くこととなりました。精神科畑ではまだ7年の未熟者ですが、沖縄の熱い薬剤師の先生方のお手伝いとサポート、加えてPCP研究会を南からも盛り上げていければと思っております。よろしく申し上げます。



2013年度下期ブロック講演会開催(予定)のご案内

ブロック	場 所	開 催 日	会 場
北海道	札 幌	11月16日(土)	大塚製薬(株)札幌支店
東 北	仙 台	12月 8日(日)	アゼリアヒルズ17F・アゼリアホール
関東・甲信越	東 京	3月2日(日)または 9日(日)	秋葉原UDX
	千 葉	1月26日(日)	大塚製薬(株)千葉支店
	大 宮	2月16日(日)	ラフレさいたま 5F 桃の間
東 海	名古屋	3月23日(日)	ウインクあいち 愛知県産業労働センター
北 陸	金 沢	3月 2日(日)	未定
近 畿	大 阪	1月26日(日)	未定
	大 阪	2月23日(日)	未定
中国・四国	広 島	3月 9日(日)	ホテルJALシティ広島
	徳 島	2月2日(日)または23日(日)	未定
九 州	福 岡	3月 2日(日)	福岡国際会議場
	沖 縄	2月~3月中予定	未定

※開催日および会場は、都合により変更となる場合がありますので、詳細はPCP研究会ホームページの活動状況欄をご覧ください。

事務局
掲示板

■2013年度会費(2013年4月~2014年3月分、年会費:2,000円)
納入のお願い

年会費のお支払いは、ご出席の講演会開催前までにお振り込みにてお願いいたします。

【郵便局】口座名:精神科臨床薬学研究会 口座番号:00170-2-578959

*通信欄に、必ずご施設名、お名前、会員番号をご記入ください。
(会員番号は、Newsletterの封筒の宛名シールに記載されています。)

■講演会プログラム

講演会開催日1ヶ月前を目処に各講演会プログラムをホームページ
<www.pcp-rg.org>に掲載しております。

■特別講演DVD「気分障害(大うつ病)における病態・診断・治療」

2013年度上期講演会を欠席された会員の皆さまにDVDを貸出しております。
希望される方は事務局までご連絡ください。バックナンバー(演題はホーム
ページに掲載)の貸出しも受け付けております。(11月より受付開始)

■事務局連絡先

〒104-0033 東京都中央区新川1-2-8 第5山京ビル6階 株式会社ネオファルマ 内
E-mail: contact@pcp-rg.org (メールには必ず、1 施設名、2 氏名を記載して下さい。)
FAX: 03-5540-3011 URL: http://www.pcp-rg.org/

【編集後記】

記録的な猛暑や豪雨災害が続いた今年の夏。災害のリスクは数十年に一度の大地震だけではなく、季節や風土によってもっと身近なところにあると感じました。大自然相手に人間は無力ですが、備えあれば憂いなし!出来る限りの対策はしっかりと練っておきたいと思う今日この頃です
(M. K)。

